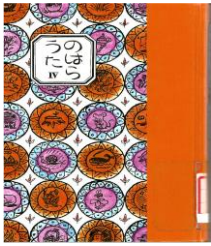


3年生ブックトーク図書紹介 テーマ「詩ってむずかしい…？」

国語の「わたしと小鳥と鈴と」の単元にちなんで、3年生に詩の紹介をブックトーク形式でおこないました。素敵な詩、面白い詩がもりだくさん。紹介した本はこちらです。



『のはらうた』(1~5)

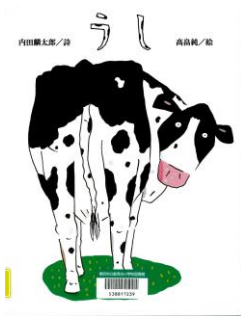
くどうなおことのはらみんな/童話屋

くどうさんが野原に遊びに行くと、いろいろな詩人に会います。かまきりりゅうじ、みのむしせつこ、かぜみつる、きりかぶさくそう、へびいちのすけ、こねずみしゅん…まだまだたくさんいます。くどうさんはかれらのつばやきを集めて詩集にしました。



『どきん』谷川俊太郎/理論社

日本を代表する詩人の谷川俊太郎は、みずみずしい言葉で幅広い年齢の人々の心をつかみ続けています。くすっとわらってしまうような詩からちょっと哲学的な詩まで、さまざまな彼の詩に触れてみましょう。この詩集から「うんこ」と「あくび」を紹介しました。



『うし』内田麟太郎/アリス館

『しゃべる詩あそび詩きこえる詩』はせみつこ編/富山房

その他詩集いろいろ...

楽しい言葉遊びで成り立っている詩、歌詞になっているもの、早口言葉になっているもの、様々な詩を紹介しました。詩というと難しく聞こえるかもしれませんが、こういったものも「詩」に入ります。難しく考えずに、自分のお気に入りの「詩」を見つけましょう！



『とっておきの詩』村上しいこ/PHP 研究所

これは詩集ではなく、「詩」を作る宿題に悪戦苦闘するつよしくんのおはなし。

「がんばっても、うまいこといかへん、詩ってどうやったら作れるんや！」

つよしくんが見たまま感じたままに作ってみた詩は、ユーモラスで笑いを誘います。彼の詩を家族であーだこーだと言いつつ場面もまたおもしろく、こういうのだったら、自分にも詩が作れるかなあと考えてきます。テンポの良い関西弁もあいまって、最初から最後まで面白く読めます。

詩をつくる楽しさが伝わってくる一冊です。

